



しらさぎ

求めて学ぶ 考えて行う 自ら鍛える

目黒区立第八中学校
学校だより NO. 21
(通巻121号)
平成28年(2016)
11月4日(金)

《1、2年保護者のための進路説明会資料》

『進路選択・決定に向けて』

校長 飯野 博史

本日はお忙しい中、「1、2年保護者のための進路説明会」にお集まりいただきましてありがとうございます。進路選択・決定に向けて少しでも早く情報を提供し、準備をしていただこうと、数年前から1、2年生の保護者の方を対象とした進路説明会を開催しています。今年度は都立世田谷総合高等学校 林 努校長先生から、都立高校の様子や入試制度、今から準備しておくこと、心構えなどお話をさせていただきます。

■都立高等学校入学者選抜における主な変更点

去る10月3日(月)に「平成29年度東京都立高等学校入試要綱説明会」がありました。基本的には昨年度同様の実施となりますが、以下の点が変更となります。直接入試とは関係がありませんがお知らせいたします。

(1) 学力検査等得点の本人への開示

受検者又は保護者から開示請求があった場合に、都立高校だけでなく中学校においても交付してきた当該受検者の学力検査等得点表については、個人情報の保護をより徹底する観点から、学力検査における答案の開示と同様に、都立高校が受検者又は保護者に対して直接交付するものとする。

(2) 選抜用評定等確認表の中学校への送付(「同意書」の提出)

調査書の内容が入学者選抜に確実に使用されているかを中学校長が確認できる仕組みを残すため、これまで中学校へ送付していた学力検査等得点表に代えて、受検者の各教科の評定等を記載した「選抜用評定等確認表」を都立高校から中学校へ送付する。

その際、都内の中学校に在学している受検者又は保護者が、中学校の進路指導や学習指導等への活用のために、都立高校から中学校への検査結果の送付に同意し、出願時に「同意書」を都立高校に提出した場合は、当該受検者の各教科の評定に加え、各検査の得点を記載することとする。

(平成29年度東京都立高等学校入学者選抜実施要綱より)

■入試方法 細かくは様々な入試方法がありますが、ここでは主に都立高校の一般的な推薦入試と一般入試について記載します。(昨年度と変わりはありません)

(1) 推薦に基づく入試(一般推薦)における検査内容

全員に集団討論及び個人面談(集団討論を実施しない場合は個人面接)を実施します。また、小論文又は作文、実技検査、その他学校が設定する検査のうちから、当該都立高校の校長が定めたいずれか一つ以上の検査を実施します。

- ・ 集団討論：昨年度のテーマ例「科学技術の進展について、日本が最も優先すべきことは何か」「他人に配慮できる人間に求められるもの」「人と人との関わり合いで、大切なことは何か」など。5～6人のグループで30分程度討論します。
- ・ 作文：昨年度の課題例「日常生活の中で挨拶をすることの良い点」「大人になるとい

うことはどういうことか、体験にも触れながら述べなさい」「10年後、どのような大人となって社会で活躍したいか、本校の教育目標を踏まえて記述しなさい」など。50分で600字程度で記述する学校が多いようです。

日頃から課題をもち、学校生活に意欲的に取り組む姿勢が必要と言えます。

※ 推薦受検ができるかどうかは、最終的に校長が判断・決定します。

(2) 学力検査に基づく入試（一般入試）

【全日制課程】

募集区分	学力検査の教科	得点と調査書点の比率
第一次募集・分割前期募集	5教科（国・数・英・社・理）	7：3
分割後期募集・第二次募集	3教科（国・数・英）	6：4

※ 芸術科、体育科、定時制課程、昼夜間定時制課程などは異なりますので、確認が必要です。 ※ 昨年度から、マークシート方式の入試が導入されました。

私立高校については、入試方法など各学校様々なのでそれぞれの学校について調べる必要があります。

身近に昨年度の卒業生や保護者がいましたら、進路選択についての様子をぜひ聞いてみてください。

■保健体育「柔道の授業」について

保健体育で、今年度も柔道の授業を行います。男子は11月中旬から、女子は12月初旬からの実施を予定しています。陸上競技、水泳、球技などと並んで、男女とも武道が必修となっています。柔道、剣道、相撲の中から学校で一つ選択し履修します。目黒区内の公立中学校9校全てが柔道を履修します。時数は各学年とも年間7～10時間程度です。改めて柔道の授業の「ねらい」などについてお知らせします。

〔第1学年及び第2学年〕

F 武道

(1) 次の運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、基本動作や基本となる技ができるようにする。

ア 柔道では、相手の動きに応じた基本動作から、基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの攻防を展開すること。

(2) 武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ることができるようにする。

(3) 武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

※ 〔第3学年〕は省略します。「中学校学習指導要領」より

当然のことながら、いきなり激しい技をかけたり乱取りをするのではなく、受け身などの基本動作を繰り返し行いながら、少しずつ柔道に慣れ親しんでいきます。自他共栄、精力善用、礼儀など、伝統的な考え方、行動の仕方についても学んでいきます。

怪我がないように安全面での配慮も十分に行っていきます。八中では厚いマットを敷いて行います。過去に大きな怪我はほとんどありませんでした。

昨年度卒業した女子が学校評価に「柔道の授業がとても楽しかった。高校に行ったらもっと柔道をやってみたい。」と記述していました。

寒さに向かいます、柔道を通して、寒さに負けない強い体と心を育てていきます。ご理解、ご協力よろしくお願いいたします。